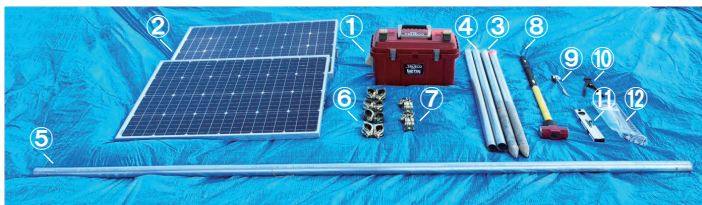


ソーラーパネル設置マニュアル

準備して頂くもの（打ち込み管を使用して設置する場合）

- ①バッテリー ×1台 ②100W ソーラーパネル ×2枚 ③1.1m 打ち込み単管 ×2本
 - ④1m 単管 ×2本 ⑤3m 単管 ×1本 ⑥自在クランプ ×4個 ⑦直交クランプ ×2個
 - ⑧ハンマー（打ち込み管用） ⑨ラチェット（またはギアレッチ）
 - ⑩番線カッター（またはニッパー） ⑪ボックスレベル ⑫結束バンド（250mm）
- ※上記は垂木クランプ付きソーラーパネル2枚設置時の必要部材です。



⚠ 写真は全てトルエコを例としておりますが、他バッテリーでも同様の手順で設置を行ってください。

1. ソーラーパネル架台の設置場所を決めていきます。設置場所の条件は以下となります。

- ・必要設置サイズ：横幅約 3m、奥行約 1m
- ・ソーラーパネルを南向きに設置ができ、日中を通して日当たりが良いこと（ソーラーパネルは、部分的にでも影がかかると大幅に発電量が下がります。）
- ・バッテリーを置く場所が平坦であること
- ・水が溜まらない場所（弊社のバッテリーは防雨仕様ですが、露出コンセント部分まで水に浸かると故障します）



2. 3m 単管を地面に置き、ソーラーパネルを取り付ける横軸の単管が南に面する向きになることを確認します。地面に置いた 3m 単管を基準にその単管の両端の少し内側の幅で打ち込み管を 2 本打ち込みます。その際必ずボックスレベルを使用し、打ち込み単管が垂直になっていることを確認してください。



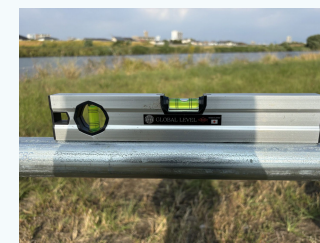
3. 打ち込んだ単管に自在クランプを2つ使用し、1m単管を立ち上げます。反対側も同様に行っていきます。その際必ずボックスレベルを使用し、立ち上げた1m単管が垂直になっていることを確認してください。



4. 1m 単管の上の方に直交クランプを取り付けます。反対側も同様に行っていきます。取付が完了したら、直交クランプに3m 単管を取り付けます。その際必ずボックスレベルを使用し、3m 単管が水平になっていることを確認してください。



ボックスレベルを使って確認します！



5. 3m 単管にソーラーパネルを取り付けます。
※本マニュアルは垂木クランプ付きソーラーパネルを使用する想定としております。
塩ビパイプ付きソーラーパネルを使用される場合は P.4 の「塩ビパイプ付きソーラーパネルを使用する場合」をご参照ください。



ソーラーパネル設置マニュアル



写真は全てトルエコを例としておりますが、他バッテリーでも同様の手順で設置を行ってください。

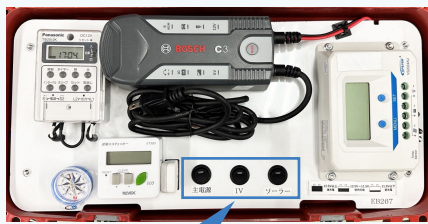
6. 日当たりに対してソーラーパネルを傾けます。真正面から太陽光を受ける状態が理想です。水平に対して、30度程ソーラーパネルを傾けてください。



7. ソーラーパネルの真下にバッテリーを設置します。地面は事前に水平にならし、ふたの留めフックがついている方を正面に置きます。雨水の通り道や水たまりのできる場所を避けて置くようにしてください。



8. バッテリーの蓋を開け、全てのスイッチをON にしてください。その後、ソーラーパネルのケーブルの先のプラグをバッテリー本体の右側にあるソーラー接続口に接続してください。ケーブルを伝って雨水等が侵入しないよう、写真のように接続前にケーブルの高さを少し下げ、水が流れ落ちるようにして下さい。(カメラのコンセント等も同様にしてください)



全てのスイッチをON にしてください!



ケーブルを一度地面に落とさずに接続すると、雨天時にケーブルを伝って雨水がバッテリー内に浸透し、故障の原因となります。

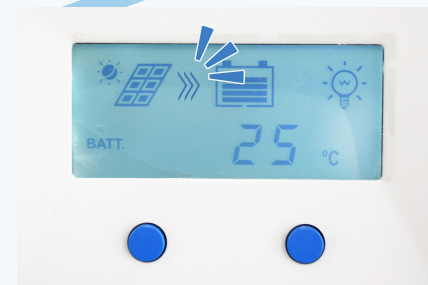
OK例



NG例

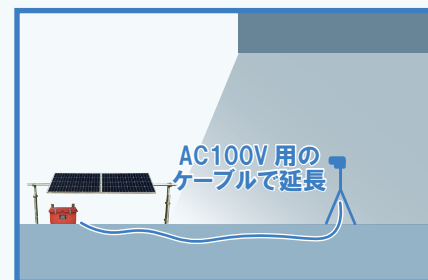


9. 右の写真のように、ソーラーコントローラーの表示がソーラーパネルからバッテリーに向かって矢印が動いていることを確認できたら完了です。



特殊な設置：カメラを設置したい位置が日陰の場合

日なたにソーラーパネルの架台を設置します。その後 AC100V 用の延長ケーブルを使ってカメラの設置位置まで延長してください。延長ケーブルはお客様ご自身でのご用意をお願い致します。ソーラーケーブルを延長させることは出来ません。発電した電力がバッテリーに届かず、充電されません。



設置したい場所の地面が、打ち込み単管を使っての施工が出来ない場合

単管バリケード 1 組と 3m 単管 2 本を使用し、架台を作成します。
※単管バリケードは必ず重しを載せたり、被覆番線などでどこかに縛って固定して下さい。

